

## ①経営体の概要

- 所在地: 宮崎県新富町
- 経営体名: 酪農経営 (株)本部農産
- 飼養頭数: 経産250頭、未經産牛等110頭
- 従事者数: 9名(家族4人、従業員3名、アルバイト2名)

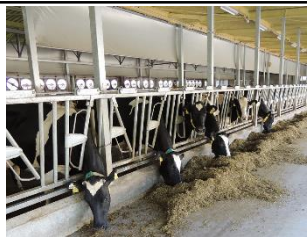
## ②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- 次世代閉鎖型牛舎( Panasonic社製)
- 搾乳ロボット(GEA社製)
- 哺乳ロボット(GEA社製)
- 自動餌寄せ機(GEA社製)



## ③導入の経緯

- 規模拡大(増頭)効率化の推進
  - ・搾乳時の労働時間の削減
  - ・哺乳時の労働負担軽減



## ④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- 畜産クラスター事業

## ⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 飼養管理の省力化(1日当たりの作業時間の減少)

導入前                      導入後

【搾乳ロボット】: 4人×2回×3時間      1人×2回×1時間  
(24/人・回・時間)      (2/人・回・時間)

【哺乳ロボット】: データ収集に向け整理中

- 次世代閉鎖型牛舎(暑熱対策効果)搾乳ロボットによる搾乳量の増加

導入前                      導入後

夏場の乳量(1頭当たり平均): 28kg/日 → 30kg/日  
年間の乳量(1頭当たり平均): 31kg/日 → 34kg/日

- 規模拡大(搾乳牛の増頭目標): 効率化・省力化により250頭(約1.5倍)まで増頭させる



## ⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 送風ファンに牛の体毛等が目詰まりすることから、定期的な清掃が必要。